

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月17日(~)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	13	1	1	16

前回の改善計画

事前情報を基に、ご利用者やご家族の思いを共有し、初期支援のカンファレンス内容を記録に残し回覧する。

前回の改善計画に対する取組結果

利用開始前に事前情報を共有し、サービス開始後は日々の関りを通して支援状況をミーティング等で共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	13	1	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援が来ていますか?	4	11	1	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	11	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係作りのために配慮をしていますか?	4	10	2	0	16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事前情報を基に安心してサービスを利用していただけるようコミュニケーションをとれている。日々の関りを通してご利用者やご家族のニーズを把握し、ミーティングや記録にて共有し支援に繋がられている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

事前情報を確認していても、把握できていないことがある。契約が短期間で決まってしまうケースもあり、事前情報の把握や話し合いが不十分なケースもあった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用開始事前情報の共有と、利用開始から1、2ヶ月経過後のサービス状況や自宅での状況、今後必要となる支援についてを担当職員がまとめ全体会議にて共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	2	12	2	0	16

前回の改善計画

目標「～したい」の重要性を研修にて再認識し、各ご利用者の目標把握向上が図れる仕組みをつくる。

前回の改善計画に対する取組結果

4月にケアプランの重要性と目標把握、記録に対する研修を実施。目標把握と記録意識向上のため、ご利用者の担当制を開始し、記録時に目標を確認できる仕組みができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	7	7	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	13	2	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	0	13	3	0	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に生かしていますか?	0	8	6	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご利用者の担当制の開始、タブレットにご利用者の目標一覧を貼りだしたことで、目標に対する意識と記録意識の向上につながった。日々の関りの中で感じたことや、ご利用者のことを職員間やミーティングで共有できている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

担当ご利用者の目標把握はできたが、すべてのご利用者の目標把握はできていない。目標に沿った支援が十分できているとは言い難い。関わった内容の共有はできているが、そこから先の支援へとつなげることまではできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

記録管理委員会で目標に沿った記録内容の管理と把握を行い、全体会議にて記録意識向上や記載時間確保に努めるよう啓発する。記録の重要性や記載についての研修を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

3. 日常生活の支援

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	2	1	16

前回の改善計画

各利用者の担当職員を決め、ファイルから以前の暮らしに関わる内容を抜き出し、掲示板に貼り付ける(2か月更新)

前回の改善計画に対する取組結果

各利用者担当により以前の暮らしの抜出はできたが、掲示板への掲示ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	7	3	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	8	1	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで語源化できていますか?	2	10	3	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	8	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	6	8	2	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご利用者の担当を決めたことで、よりご利用者を知ろうとする意識が向上した。ご利用者の心身の状態変化にも気を配り、その情報を共有しその時々で必要な支援ができている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

ご利用者によって把握できている情報に違いがあり、各職員により得ている情報量の違いもある。また、ご利用者の思いをうまく汲み取れず語源化できていないケースや、情報を得ようとする意識が足りない面もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

全体会議にて「ご利用者過去抜きとりシート」を活用し現在の支援状況等の共有と確認を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	12	1	2	16

前回の改善計画	地域支援についてや地域資源とは何かの研修を実施し、地域支援の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組結果	小規模多機能として求められる地域支援についての研修を実施できた。地域資源の一覧表を作成し張り出を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	12	3	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	11	1	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	12	2	2	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	10	3	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
各ご利用者の以前の暮らしをまとめたことで、それぞれの生活スタイルも理解できた。ミーティングや会議においてご利用者とご家族の思いや関係性、暮らしに必要な地域資源(福祉用具、配食、移送サービス、移動販売車等)についても有効に活用できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族や外部との関係性については管理者やケアマネ等が主として行うため、職員が深く理解するところまでは至っていない。すべての地域資源を把握できておらず、有効に活用できているかがわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご家族宛に担当職員から各ご利用者のやまぶきでの様子を手紙でお知らせする。地域支援に活かす取り組みとして、各ご利用者のこれまでの生活スタイルや人間関係などの聞き取りアンケートを実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	3	11	1	1	16

前回の改善計画
小規模多機能に求められる地域支援についての研修を実施する。また、知り得た情報を全職員で共有できるよう報告・申し送りをする。
前回の改善計画に対する取組結果
小規模多機能として求められる地域支援についての研修を実施できた。ミーティングや会議で情報の共有をしているが、共有すべき事項ができていないケースもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	10	0	1	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が本当に適切に提供されていますか?	7	9	0	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有する事ができていますか?	7	8	1	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	8	0	0	16

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
	ご利用者やご家族、天候等にも配慮して必要に応じた柔軟なサービス提供ができている。ご利用者の暮らしの状況に合わせた地域資源(福祉用具、配食、移送サービス、移動販売車)の活用ができている。

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
	ご利用者の必要な情報共有ができていないケースがある。現在活用している地域資源についての理解はできているが、その他についての理解ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	小規模多機能に求められる事や地域支援についての研修を実施し、日々の実践を通してのケースを共有し理解を深める。ご利用者、ご家族のニーズを把握、共有し柔軟なサービスを提供する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

6. 連携・協働

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	12	1	2	16

前回の改善計画

サービス機関・地域会議に参加した職員は、ミーティングや全体会議にて報告する。地域との繋がりでは世間の状況(感染状況等)を把握し継続していく。

前回の改善計画に対する取組結果

各関係機関との会議に参加しその情報をミーティング、会議にて共有できている。地域行事への参加や小学生との交流、ボランティアの受け入れ等地域との繋がりを持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	8	2	4	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	7	3	4	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	11	3	2	16
④	登録者以外の高齢者や子供等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	10	2	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

管理者やケアマネを主に各種関係機関との会議や話し合いの状況を会議等で報告できている。地域行事への参加や作品展への出展、小学生との交流やボランティアとの交流もできている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

各関係機関との会議や話し合いの状況報告と共有が十分できているとは言い難い。対外的な部分は管理者やケアマネ、看護師等で一般職員の参加機会はほとんどない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域との繋がり的重要性を研修や日々の実践を通して再認識し継続させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

7. 運営

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	3	12	0	1	16

前回の改善計画

ご利用者、ご家族、運営推進会議等での意見や声を真摯に受け止め、サービスの質向上につなげる。また、地域、家族広報を配布しやまぶきをPRする。

前回の改善計画に対する取組結果

ご利用者やご家族、運営推進委員会からの意見や苦情は真摯に受け止め、全体で共有し再発防止やサービスの質向上へと繋げている。家族、地域広報、SNSでPRし職員採用や利用等に繋がったケースもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員としての意見を言うことができているですか?	0	10	5	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	11	0	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	2	1	16
④	地域に必要とされる拠点である為に、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	10	3	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

やまぶきに対する意見や苦情についてはミーティングや会議等で共有し、再発防止のための仕組みの考案や啓発等できている。地域と協働した福祉避難所、やまタク受付、小学生の受け入れ、福祉相談窓口など取り組むことができた。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

事業所の在り方について考える機会がなく、意見することができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新たな年間テーマとスローガンを考え、ミーティングで唱和し共通認識の基で業務にあたる。ご利用者、ご家族等の意見や苦情を真摯に受け止め業務改善を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

8. 質を向上するための取組

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	13	1	1	16

前回の改善計画

ヒヤリハット報告書を見直し、ミーティングや全体会議で共有と再確認を行う。外部研修・地域連携会議に参加した際は、ミーティングや全体会議で報告し共有を図る。

前回の改善計画に対する取組結果

リスク委員を中心にヒヤリハット報告書を見直し、以前よりも報告がしやすいものになり件数も多く上がるようになった。外部研修等に参加した際は、会議等で共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	5	8	3	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	1	9	3	3	16
③	地域連絡会議に参加していますか?	2	7	3	4	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	1	13	1	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎月の内部研修は年間計画に沿って実施できている。外部研修の機会は少ないが、開催される研修へは積極的に参加できた。管理者やケアマネ等が地域連絡会議等に参加している。ヒヤリハットやアクシデント報告を共有し再発防止に向け共有できている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

会議や研修での学びの共有は十分にできたとは言い難い。職員によってヒヤリハットやアクシデント報告における報告意識に差がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

外部研修や地域連携会議に積極的に参加し、ミーティングや全体会議にて学びの共有を図る。リスク管理委員会でヒヤリハット、アクシデント報告の管理と共有を行いリスクマネジメントの向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 17 日 (~)

9. 人権・プライバシー

メンバー 野々垣・長澤・藤山・渡邊・西村・小幡・大槻・堀田・ジョビー・尾松・大槻・西田・吉田・千葉・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	8	8	0	0	16

前回の改善計画

身体拘束・虐待・プライバシー・個人情報の研修の実施と、自己チェック表を「法人、チームの一員として」「身体拘束と虐待」「個人情報、プライバシー」「利用者対応」作成し、毎月実施し啓発をする。

前回の改善計画に対する取組結果

研修と自己チェックにより、定期的に自己啓発ができ意識して業務にあたることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	6	0	0	16
②	虐待は行われていない	11	5	0	0	16
③	プライバシーが守られている	3	12	1	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	9	0	0	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	12	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自己チェックにより定期的に自己啓発ができ意識して業務にあたることができた。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

虐待や身体拘束等はないが、排泄時の声掛け、職員間での情報のやりとりの声が大きかったり、入室時のノック、記録の保護など個人情報やプライバシーに配慮できていない面がある。また、スピーチロックとも考えられるようなケースもある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

身体拘束、虐待、プライバシー、個人情報の研修実施と、各4種(①法人、チームの一員として②身体拘束と虐待③個人情報、プライバシー④利用者対応)の自己チェック表による啓発を毎月1種毎に実施する。その結果を基に、月間で意識することを共有し実践する。